

地震や火災に強く快適な住まいへ 「外断熱×RC造り」で命と財産を守る家造り まずは当社にご相談ください！

東建工業

東建工業（横浜市瀬谷区宮沢、桑原辰吉社長、045・442・7950）は、設立当初は型枠解体を主業としていたが、現在は共同住宅・店舗ビルなどの物件を幅広く手がける総合建設業の会社である。特に外断熱×鉄筋コンクリート造り（RC造り）を強みに持ち、顧客ニーズの変化とともに活躍の場を広げている。

もともと安全性の高い構造であるRC造りを得意とし、地震に強く耐久性にすぐれた壁式構造（床・壁・屋根で全体の力を分散させることで高い強度を誇る）・耐熱性や耐久性の高い工法（アルミ外壁一体型のコンクリート型枠を屋外側の型枠として用いた工法）により、年々売上を伸ばしている。

同社が外断熱工法を使用した建築請負に舵を切ったきっかけは、東日本大震災という。日本の戸建てで主流となっている木造建築は、安全性に限度がある。また、R

C造りと木造では、断熱効果に雲泥の差があることも注目だ。木造建築は主にウレタン使用で断熱しており、密閉性が課題となる。密閉性の高いRC造り×外断熱なら、省エネでより快適な生活が可能である。同社は地震や火災に強いRC造りに加え、欧米では既に主流の外断熱を採用入れ、「命を守る家造り」「快適な住まい造り」を理念に掲げている。



本社屋前の桑原社長

RC住宅は木造住宅と比べ高価格で手が出づらいつとるを、同社は自社施工によって価格を抑えている点も特長だ。日本ではまだ目新しい同社の取組み、ぜひ一度ご相談ください。



高いデザイン性と耐久性、同社の「快適な住まい造り」は高い評価を得ている